

ヘウレーカ!

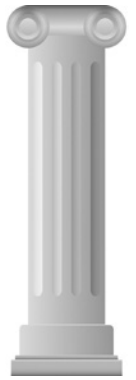
なるほど、そうか

第29回

ゴルファーはどんな人たちか？

— 行動パターンからゴルファーを理解する。USGAゴルファー2万人アンケート —

喜田任紀



USGAが2021年5月（29日）に実施したゴルファー2万人アンケートの結果が公表されています。調査は、USGAメンバーのデータベース、GolNow、GoldPass、Tee Off、Topgolfの五つの異なるチャンネルを通じて行われました。この調査結果は、2021年8月に発表され、以後USGAの多くの記事に引用されています。いろいろと探したのでありますが、見つからず、やっと見つけた！というわけで、やっと記事にします。

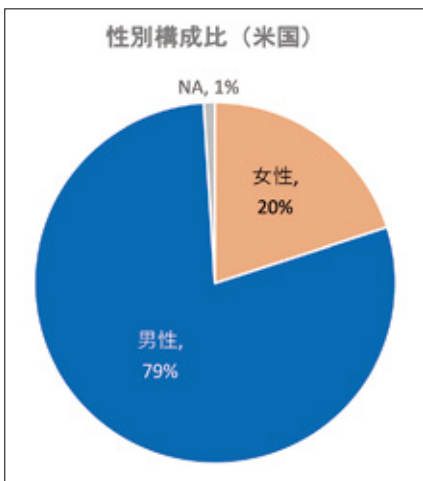
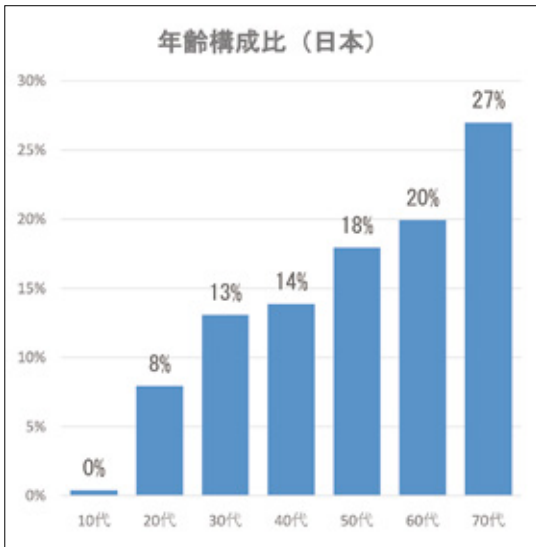
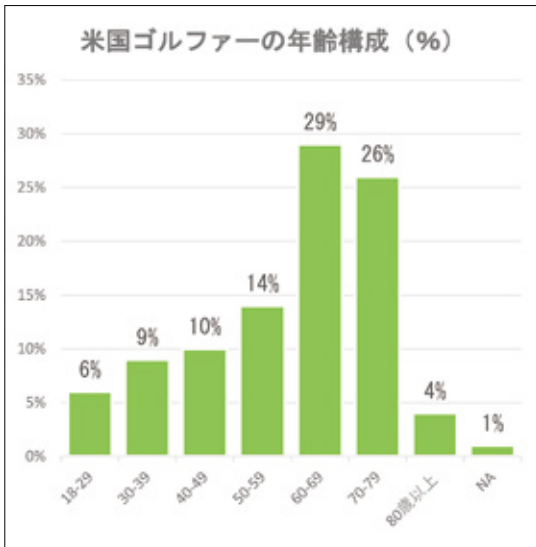
ところで、日本ではゴルファーの定義は、よくあるのは倶楽部メンバーか倶楽部に所属しないゴルファー（英語圏ではIndependent golferかNon-club golferとか呼ばれています）といった分類か、スコアとかハンディキャップによる区分くらいではないでしょうか。もちろん、アンケート調査などでは、性別、年齢別、職業、収入、家族構成といった項目分けもされているのですが、ゴルファーのイメージは、ゴルフをする人といったひとくくりにしたような定義で終わっているように思えます。

ゴルフの大衆化が進むことで、ゴルフスタイルが多様化していることは理解されていますが、よりゴルファーを知ろうとすれば、行動心理学や認知科学という分野の視点が必要になっていきます。素人にもわかるという点では、ゴルフファーをこういふ人たちですという、ゴルフファーの「ペルソナ」を想定することで、ゴルファーを理解するということとなります。

そもそも、ユングによるペルソナとは他者に対峙す

る時に現れる自己の外的側面（イメージ）のことで、マーケティングや商品開発において、ターゲットとなる顧客の人物像を具体的に設定する（知る）手法の一つです。ゴルフ場も、顧客対象であるゴルファーのペルソナを作成して、ニーズや価値観をより深く理解し、それに合った商品やサービスを提供しなくてはいけない時代になっている気がします。ペルソナに頼ると、人をステレオタイプ的に見してしまうという問題点もあるのですが、詳しくは皆さんでお調べください。

今回の話題は、USGAは、対象とするゴルファーの行動パターンを細かく分類、分析することで、ゴルファーの満足度を高めて、ゴルフの持続的な発展を進めようとしており、もはや「ゴルフをする人」を「ゴルフファー」と単純な定義はしませんと言っています。いろいろなタイプのゴルファーの存在を明確にして、各ゴルフ施設の内容、求めるゴルファー（像）のマッチングを確実にして、顧客とする（なる）ゴルファーのニーズやウォンツに、施設やサービスを改善して、ゴルファーに応えよう、



ゴルフアワーを増やそうと提案しているわけですが、前置きが長くなりましたが、USGAのゴルフアワー2万人アンケートの概要を紹介いたします。ただ米国のゴルフアワーのペルソナですから、参考にはなりませんが、日本のゴルフアワーのペルソナと一致するわけではありません。独自に取り組む必要があります。

米国ゴルファーのペルソナ

まず、米国ゴルファー全体のプロフィールを紹介いたします。

最初は年齢構成です。最も多い年齢層は60代です。高齢層でゴルフ

アワーが多い、日本と同じと思っ
ていませんか。

スポーツ庁のデータと比較すると、日本で最も多いのは70代です。年齢が高くなるにつれ、右肩上がりでゴルフ人口が多いのが日本の特徴で、米国は60代がピークを形成しているという構造的な違いがあります。基本である年齢構成に違いがあるわけですから、日本独自の調査の必要性は理解されるでしょう。

ちなみに性別構成は、米国は女性比率が20%で、日本は16%です。少し(?)差があります。

では本題のUSGAはゴルファーをどう分類したかです。

ゴルフアワー全体を、その志向内容で分けると9タイプになると結論付けています。今回紹介するのは、どういう風な分類をしているかで、日本で同じような取り組みを行う場合の参考にしてほしいわけです。

それでは、本題のゴルファーのペルソナは以下のとおりです。

- ・興味のない参加者 (Disinterested Dabblers)
- ・水面下で試す者 (Dipping Their Toes in the Water)

- ・週末の戦士 (Weekend Warrior)
- ・楽しみの求道者 (Good Time Go Her)

- ・全てを備えた若いゴルファー (All That / Young Stick)
- ・高齢者アスリート (Aging Athlete)
- ・伝統主義者 (Traditionalist)
- ・他のスポーツからの転向者 (Go Her from Other Sport)
- ・ゴルフエンターテインメント (Go Herainment)

それぞれのタイプについてはこのように説明されています。

興味のない参加者 (Disinterested Dabblers) : このタイプのゴルファーは、全体の14%を占めている。このタイプのゴルファーは、ゴルフに対してあまり興味や情熱を強

タイプ別ゴルファーの分布	サンプル数	構成比
Disinterested Dabbler (興味の薄い参加者)	2908	14%
Dipping Their Toes in the Water (水面下で試す者)	1232	6%
Weekend Warrior (週末の戦士)	3114	16%
Good Time Golfer (楽しみの求道者)	484	2%
All That / Young Stick (全てを備えた若いゴルファー)	574	3%
Aging Athlete (高齢者アスリート)	3319	17%
Traditionalist (伝統主義者)	3844	19%
Golfer from Other Sport (他のスポーツからの転向者)	581	3%
Golfertainment (ゴルフエンターテイメント)	2562	13%
その他のタイプ	1494	7%

ることが多く、前方ティーを使うことも多い。このタイプは、ゴルフを楽しむためには多くは必要ないと考えており、安くて便利なゴルフ場を選びます。

水面下で試す者 (Dipping Their Toes in the Water) :

このタイプは、全体の6%を占めている。このタイプは、ゴルフに対してやや強く興味を持っていますが、まだ自信がありません。ゴルフは楽しいと感じる一方で、ストレスや不安も感じる場合があります。ゴルフを始めたばかりで、基本的な技術や用語を学んでいるタイプです。初心者向けで優しいゴルフ場を選びます。

週末の戦士 (Weekend Warrior) : このタイプのゴルファ

ーは、全体の16%を占めている。このタイプは、ゴルフに対して強い情熱を持っており、

く持つておらず、ゴルフは他のレジャー活動と同じくらい重要であり、ゴルフ場での時間は社交的な意味を持ち、スコアやパフォーマンスはあまり気にしません。ティーの選択は他のプレーヤーに任せ

自分のスキルやスコアを向上させたいと思っている。ゴルフはライフスタイルの一部であり、仕事や家庭と両立させるために時間を割きます。ゴルフを楽しむためには、挑戦や競争が必要だと考えており、

コースや設備に求める満足度は中程度。

楽しみの求道者 (Good Time Golfer) : このタイプのゴルファーは、

全体の2%と少ない。このタイプは、ゴルフに対して楽しみやリラククスを求めており、自分のスキルやスコアにはあまりこだわりません。ゴルフは友人や家族との時間を過ごすための手段であり、雰囲気や景色を楽しみます。ゴルフを楽しむためには楽しい仲間や快適な環境が必要だと考えており、コースや設備に求める満足度は高い。

全てを備えた若いゴルファー (All That / Young Stick) : このタイプ

のゴルファーは、全体の3%だった。このタイプは、ゴルフに対して非常に高いスキルと自信を持っており、自分のパフォーマンスや競争力を誇示したいと思っています。ゴルフは自己表現やアイデンティティの一部であり、他のプレーヤーやコースに挑戦することを楽しめます。ゴルフを楽しむためには自分の能力や成果を認められる必要があると考えており、コースや設備に求める満足度は中程度です。

高齢者アスリート (Aging Athlete)

このタイプのゴルファーは、全体の17%を占めている。このタイプは、ゴルフに対して高いスキルや自信を持っており、自分のパフォーマンスや競争力を向上させたいと思っています。ゴルフは他のスポーツと同じくらい重要であり、体力や技術を鍛えるために努力します。ゴルフを楽しむためには自分の能力や成果を認められる必要があると考えており、コースや設備に求める満足度は中程度。

伝統主義者 (Traditionalist) : この

タイプのゴルファーは、全体の19%を占めている。このタイプは、ゴルフに対して深い敬意や愛着を持っており、ゴルフの歴史や文化を尊重します。ゴルフは生き方や価値観の一部であり、ルールやエチケットを守ることを重視します。ゴルフを楽しむためには伝統や文化を尊重する必要があると考えており、コースや設備に求める満足度は高い。

他のスポーツからの転向者 (Golfer from Other Sport) : このタイプの

ゴルファーは、全体の3%と少ない。このタイプは、ゴルフに対して他のスポーツと同じくらい興味

や情熱を持っており、自分のスキルやスコアを向上させたいと思っています。ゴルフは他のスポーツと同じように楽しみや挑戦であり、体力や技術を鍛えるために努力します。ゴルフを楽しむためには挑戦や競争が必要だと考えており、楽しく快適なゴルフ場を選びます。

ゴルフエンターテインメント (Golf Entertainment) : このタイプのゴルフファアは、全体の13%を占めている。このタイプは、ゴルフに対して楽しみや刺激を求めており、自分のスキルやスコアにはあまりこだわらない。ゴルフは他のエンターテインメントと同じくらい重要であり、音楽や飲食などを楽しみます。ゴルフを楽しむためには楽しい仲間や快適な環境が必要だと考えており、安くて便利なゴルフ場を選びます。

マーケティングは不可欠です。今回、ゴルフファアのタイプをペルソナとして紹介しました。多様なゴルフファアの姿が少しは具体的に見えてきたのではないのでしょうか。週末の戦士や高齢者ゴルフファアは高品質なコースコンディションや速いプレー進行を求めますが、興味の薄い参加者やゴルフエンターテインメントは安価で便利なコースを求めます。また、水に足をつける者や若いアスリートは自分の能力に合ったティーアップシジョンや教育プログラムを求めます。具体化されたペルソナにに応じて、ゴルフ場はより適切なサービスや施設を提供することが出来ます。また、ゴルフファア自身も自分のタイプを知ることで、自分に合ったゴルフ場やティーアップシジョンを選ぶことができます。

ところで、USGAのレポートは総頁187頁もあります。ペルソナ以外の分析項目を挙げておきます。

- **ゴルフエンゲージメント**
- ・ 利用するゴルフ施設の種類のラウンド数
- ・ ハンディキャップの分布
- ・ 経験年数

- ・ ゴルフ施設との関わり
- ・ グリーンフィー
- ・ メンバーシップの入会理由
- ・ 倶楽部に入会しない理由
- ・ ゴルフ費用
- **距離と精度**
- ・ スコア
- ・ ショット距離 (ドライバー/7アイアン/PW)
- ・ ショットの精度
- ・ 距離の正確さに対する意見
- **コース上の体験**
- ・ コース情報の入手手段
- ・ コース選択理由
- ・ コースの満足度
- ・ タッチポイントの影響
- ・ 理想的なコースの長さ
- ・ 理想的なホール長 (パー3)
- ・ 理想的なホール長 (パー4)
- ・ 理想的なホール長 (パー5)
- **ティーの選択**
- ・ 好みのティー
- ・ ティーの選択基準
- ・ コースヤードの影響
- ・ バックティーのヤーデージに対する意見
- ・ コースが長すぎる/短すぎると感じる
- ・ フォワードティーの経験

- ・ フォワードティーの満足度
- ・ フォワードティーの考え方
- **ティーがショットに与える影響** などなど――
- 例えませんが、調査結果から指摘されている点として、
- ・ 競技ゴルフ志向のエリートアマチュアは3%に過ぎず
- ・ ゴルフクラブ会員権を所有する主な理由は、家から近いこととお得だったこと
- ・ コース選択理由としては、コースの長さは、コースの魅力やホールやティーがゴルフファア自身のプレースタイルやスキルレベルに適しているかなどの他の特徴に比べて、参加動機としてははるかに重要ではなかった。
- ――といった、ゴルフ場として参考になる内容が見受けられます。機会があればそれぞれの結果について詳しく紹介したいと思いますが、まずは是非とも一度目を通してください。

https://www.usga.org/content/dam/usga/pdf/CourseCare/SMS-Report_USGA_GolferExperience_August-2021.pdf

